

犬山市 フューチャーセッション SEASON 2

FUTURE SESSION @INUYAMA



犬山市フューチャーセッション 2018～ >>> 集まったメンバーが立場を超えて自由に語り合い、対話から価値を生み出す「創造的な語り場」。今年度は、レギュラーセッションに加え、キャンプ、アウトリーチ、ビジネスコラボなど、参加者といっしょに企画しながら様々な試行に挑戦します！

ゲストトーク&フューチャーセッションをつくろう

3

プログラム

1. 前回のふりかえり
2. ゲストトーク / 加藤慎康さん
3. 対話カフェ
4. グループトーク
「フューチャーセッションをつくろう」

9月20日(木)の夜、犬山国際観光センターフロイデにて、今年度3回目の「フューチャーセッション(以下、FS)」を開催。参加者は、市民や事務局スタッフ含め16名でした。

この日の前半は、ゲストに美濃加茂市まちづくりアドバイザーとして活躍されている加藤慎康さんをお招きしてトーク&交流。

また後半は、今年度のFSのうち、10月の「FUTURE CAMP」、12月の「働く女性応援セッション」、2月の「市内企業とのコラボ企画」の企画に挑戦！中身の濃い～2時間半になりました！

1 ゲストトーク ゲスト：加藤^{しんやす}慎康さん / 美濃加茂市まちづくりアドバイザー



サラリーマン～大ナゴヤ大学

名古屋で生まれて、大学卒業後、ガス器具のメーカーに勤めました。家から会社が近くて「取締役にはなれませんが、戸締り役にはなれます！」ということで、夜中に警報機が鳴った時には、なぜか警備員さんから僕が呼ばれる(笑)。

湯沸かし器の事故があった時に対策本部の仕事で半年くらいほぼ会社に泊って…強烈ないい経験をしました。

その後、2009年に「名古屋のまちじゅうがキャンパス」という「大ナゴヤ大学」を立ち上げました。サンシャインサカエでは、28個の Gondola を教室に見立て、名古屋に住むいろんな国の人をみんなでナンパしてきて先生になってもらい、先生と生徒2人で一周15分する間にいろいろ聞いて、その国の人の親善大使になってもらう、ということをしました。まちじゅうをキャンパスに見立て、どこでも学べる場所がある。例えば無愛想な魚屋さんでも、聞くとみんな話してくれる。人のつながりがどんどん広がってって、おもしろいなと思いました。

私が学長をしていた当時は給料1万円からスタート。事業が軌道に乗るまで貯金を食い潰しながらやっていましたが、今は代表も3代目。学生は7月末で4700名になりました。

取り組みを続けていくと、だんだんビジョンも変わっていきます。私が代表をした時は「ナゴヤのプラットホームになる」ということで、自分自身がいろんな所に顔を出してつながって、その人達と一緒にやれる場を作ろうということやっていました。2代目になると、けっこうみんなつながったけど、まちはつまらない、ということで「ナゴヤをおもしろがる人を増やそう」という視点に変わり、3代目は、もう一歩先のチャレンジをしたい人を増やそうということで、目標は「やってみたくて増やすことでまちのことを好きになる」になりました。

テレビ塔をまちづくりの場に

そうこうするうちに「電波塔の役割を終えようとするテレビ塔の未来が、何も決められていない」という話になって…ボランティアで街頭アンケートをしたり、ネットで声を聞いたり、市長・知事・テレビ塔の社長でビールを飲みながらテレビ塔の未来を話してもらったり…いろんな人に意見をもらいながら、

いろいろな人に動いてもらうきっかけをつくっていきました。

もともと自主活動をしていた大ナゴヤ大学は、だんだん名古屋市にとっても一緒にやっていく存在に。広告代理店さんなど十数社といっしょに出した提案がコンペで通ってテレビ塔の場でマーケットをしたり、フリーペーパーをつくったり、観光案内所をつくったり、ツアーをしたりと、今も取り組んでいます。

そうしているうちに、やっぱり経営が大事、まちで稼ぐ仕組みをつくりたいと思って、大ナゴヤ大学の代表を代わって名古屋テレビ塔株式会社に入社。60周年を機に会社の定款をまちづくりをしていくように変えさせてもらったり、グランパスに60周年記念モデルのユニフォームを作ってもらい、収入の7.58%を名古屋に寄付していただき、そのお金を久屋大通再生社会実験に利用させてもらいました。

美濃加茂市のまちづくりコーディネーター

その後疲れて（笑）、奈良の田舎で農業を勉強したりして、クリエイティブなことでもどう人を呼べるかを見せてもらって…そういうことをしていきたいと思っていた時に、美濃加茂市から声をかけていただいた。期間限定の公務員。まちづくりコーディネーターとしていろいろな活動をさせてもらっています。

市の人口の8%が外国人。そのうち半分がブラジル人。もっと交流し、まちのことを知ってもらおうということで、キリンと組んでビアツーリズムをしました。また国籍に関係なくい

んな人が集まる場所をつくろうということで、東海地域の情報発信をしている会社とマッチングし、クラウドファンディングで300万ちょっと集まって、ビルをリノベして…1階がチャレンジカフェ、2階は休憩したり簡易宿泊もでき、子どもと交流もできる場所、3階はオフィスに…とやっています。

みんなをつなげよう！ということでやった「大女子会」は、0～104歳まで参加して見事に盛り上がった。104歳のおばあちゃんが「あんたら、美濃加茂のためにがんばらなきゃいかんわ」と言ってくれて場がしまった（笑）。会後の動きもおもしろくて、97歳の方は外によく出るようになって、おはよりの声も大きくなったそうです。タイトルは、男性には「大好（き）会」、女性には「大女子会」と。みんな、アイデアがバンバン出てくるんですね。

Q.企業とコラボするには、どうしたらいい？

A.企業とやるとだいたい失敗する（笑）。まちづくりのためにやっているボランティアが企業と一緒にやると、すごいプレッシャーを受ける。仕事ではできない関係性を作るといい！

Q.ボランティアさんをどのように集めればいいんですか？

A.ナンパです（笑）。関わった方とまず話をして、何かやりたそうだなと思ったら、まずはボランティアスタッフやらない？と。それから徐々に、企画しない？とか、事務局やってほしいなあとか言って…。

2 グループトーク「フューチャーセッションをつくろう」



考える作業がめっちゃくちゃおもしろい！みんなで仕掛けた方がおもしろいものになるので…今日は今年度のFSのプランニングをしてみましょう！

10月 FUTURE CAMP

10月19～20日にキャンプをします！19時に集合したらすぐBBQ、食べられる状態に準備しておきます！21時からレクリエーション。キャンプファイヤーで火を囲んで楽器演奏があったり、夢を語り合ったりしたいなと思っています。翌朝は6:30にラジオ体操、7時に朝ご飯。9時くらいからFS。歩いて行って栗栖の奥の方で活動している「夢発心」に話を聞きに行くのもいいかなと考えています！

12月 働く女性応援セッション

「大女子会」をしようということで、内容は、グループ分けをしてテーマを決めて意見交換をしたり、失敗を乗り越えて今があるような人にゲストトークしてもらったあと、フリータイムで大交流会をして、最後にゲーム大会などをしたらどうか。男性に段取りしてもらって女性が楽しめるといいね、という話をしました。

2月 市内企業とのコラボ企画

リーディング企業を一社にするのか、いくつかの企業の組み合わせにするのか、といった話や、将来的にはフューチャーセンターを支援してもらえるような流れに持っていけたらいい、という話、企業が女性に、これからどういう働き方をしたいかを相談できる場にしたらどうか、といった話が出ました。これから、どんな企業があるか情報収集して、企業とコンタクトを取っていききたいなと考えています！



ひとことアンケートより ゲストスピーカーの加藤さんのお話がとても参考になりました！／人に協力してもらうのは大変だということ、時間をかけて関係を作ることが大切だということを学んだ／いろいろな取り組みを知った／今日も楽しかったです ほか

犬山市役所 地域安全課 (担当: 田原)

☎ 0568-44-0346

Mail: 010400@city.inuyama.lg.jp